

土壤改良資材バイオベースぎのぞで

もっと土を健康に！！

畑で放線菌を育てよう！

施肥の仕方

- 1 マンゴーの場合 花実の結実後に根の周囲に1kgを施肥（初回は2kg）収穫後、根の周囲にお礼肥1kg
- 2 ゴーヤーなど瓜類は1メートル直径の円い土壌を設計し2kgすきこみ植え付けします。収穫を行いながら追肥をしていきます。
- 3 果菜類は元肥・追肥として使用。多くの花実が出来ます。
- 4 花・葉野菜類は耕した後、土壌表層に2mmくらいの厚さに撒いて、水やり後、播種します。収穫後も同じ要領で行ってください。
- 5 鉢類の場合は、10センチ鉢でコーヒースプーン（小さじ）1杯で2ヶ月を目安に使います。
- 6 芝生の場合は、15キログラムあたり200平方メートルで散布します。
- 7 放線菌を増殖させる場合は、バイオベースぎのぞ15kg当たり粉末有機肥料100kgと混ぜ、水分を50%に調整し、2日間はシートをかけ温度上昇を待ちます。発酵が始まりましたら3日ごとに切り返し、3回目で使用します。（温かい間）微生物が活動中は病原菌虫（糸状菌による青枯れ・立ち枯れ連作障害防止、線虫類、芋病害虫類）の処理が早くなります。
- 8 液肥をつくる場合は、15kgで水500リットル希釈後、2時間後から使用します。用途に合わせて、こしてご使用下さい。使用量を分けてお作り下さい。



糖度・味見上昇に速効性

放線菌発酵魚粉が、即効的に糖度を上昇させます!!

製品内容量：

放線菌発酵鶏糞 13kg 放線菌発酵魚粉 2kg 正味 15kg（35%）

小売価格 1,050円/袋



製造元 宜野座村堆肥センター
宜野座村字宜野座1705番地
TEL 098-968-4528